

# 令和2年度 全国生涯学習市町村協議会 臨時役員会

## 協議報告

### 開催日時

令和2年8月29日（土）午後2時00分から午後3時40分  
（Zoomによるオンライン会議）

### 出席者

自治体名	役員種別	職名	首長名
京都府 亀岡市	会長	亀岡市長	桂川 孝裕
青森県 階上町	副会長	階上町長	浜谷 豊美
千葉県 酒々井町	副会長	酒々井町長	小坂 泰久
鹿児島県 志布志市	副会長	志布志市長	下平 晴行
北海道 本別町	理事	本別町長	高橋 正夫
岩手県 金ヶ崎町	理事	金ヶ崎町長	高橋 由一
福岡県 岡垣町	理事	岡垣町長	宮内 實生
佐賀県 多久市	理事	多久市長	横尾 俊彦
鹿児島県 始良市	監事	始良市長	湯元 敏浩
	世話人		福留 強
文部科学省地域学習推進課		課長	水田 功
事務局（亀岡市市民力推進課）		課長	福田 正弘

## 1. 令和2年度 研修会等補助金とブロック別交流会について

(ブロック別交流会事業の現状報告)

北海道・東北	青森県 階上町	令和2年10月17日(実施)
		(オンライン検討)
関東・中部	千葉県 酒々井町	令和2年11月頃(中止)
近畿・中国・四国	京都府 亀岡市	令和2年10月3日(中止)
九州・沖縄	鹿児島県志布志市	令和3年2月13日(今後の状況次第)

(協議結果・意見)

- ・実施できる市町では進めていただくが、協議会全体のブロック別交流会という枠組みとしては、令和2年度は中止とする方向でどうか。
- ・研修会等補助金については、これらの状況を踏まえ、実施できる市町に交付していけばよいのではないか。
- ・総会決議において、離島など自治体の立地条件により、広域的な研修会等の事業に参加しにくい現状があるなどの意見があり、会として対応を検討する必要があるのではないか。

## 2. 全国生涯学習市町村協議会の20周年記念事業について

(協議結果・意見)

- ・近年の会員減少もある中で、当協議会の発足経過やこれまでの取り組み実績など、足取りを記念誌として編纂することは、今後の展開に必要なことである。事務局も市町村持ち回りで、文部科学省も担当者が交替されるなど、内容を把握しやすく、全国に発信できる媒体としても活用できる。
- ・発足当初から世話役としてご尽力いただいている福留強先生や文部科学省、各会員にも寄稿いただきながら、取り纏め作業を進めていければよい。
- ・生涯学習、地域学習、地域協働に係るこれまでの国の経緯などをまとめたページを入れられないか。

### 3. 令和3年度以降の今後における取り組みについて

(協議結果・意見)

- ・ 事業については、オンラインでの取り組みの研究が必要である。
- ・ 文部科学省と協議会の相互協力・連携の体制を構築したい。例えばトライアル的な事業や計画があれば協議会に提示いただき、一緒に実施していく。文部科学省から助言や予算の支援をいただく。
- ・ 協議会から正式に事業要望をしていくことも必要ではないか。各市町村の抱える課題などをとりまとめ、現場の意見を届けるのはどうか。
- ・ 文部科学省も財源確保にご苦労されていることと思う。現場の声を届け、より効果的な財源確保のため文部科学省と協議会が連携していければと思う。
- ・ 全国市長会、町村長会においても協議会のメリットを提示して会員獲得ができないか。
- ・ 福留氏が準備している全国女性活躍まちづくりフォーラム（仮）を協議会で共催し、会員自治体の職員研修として周辺自治体の参加や会員のオンライン参加を募りたい。
- ・ 協議会で SNS を運営し、情報共有、発信に役立てるのはどうか。
- ・ 会員の研修参加に対する補助を出せないか。各自治体の参加しやすい環境を作りたい。財源確保のためクラウドファンディングなどに取り組めないか。
- ・ これまで検討した経過もあったが、国会議員との連携等を図るため、各会員から地元議員への働きかけをお願いしたい。